

原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ
復興対策基礎基盤研究プログラム
事後評価総合所見

| 評価の概要 | |
|---|---|
| <p>研究課題名：放射性物質により汚染された植物バイオマスの減量化総合処理システムの開発研究</p> <p>研究代表者（研究機関名）：加藤純一（広島大学）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：金原和秀（静岡大学）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：佐々木健（広島国際学院）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：大塚祐一郎（森林総合研究所）</p> <p>研究期間及び研究経費：平成24年度～平成26年度（3年計画）94百万円</p> | |
| 項目 | 要約 |
| 1. 研究の概要 | <p>福島第一原子力発電所の事故により、多量の雑草、雑木、枯葉及び農作物が汚染された。本事業では、バイオマスの微粉化・糖化、乾式嫌気発酵、固体嫌気発酵及び光合成細菌による放射性物質除去の技術を組み合わせ、汚染バイオマスを大幅に減容するとともにメタン・乳酸を生産するシステムを開発し、生産物の有用性を確認することを目的として研究を行った。</p> |
| 2. 総合評価 | <p style="text-align: center;">A</p> <p>除染で生じる放射性植物廃棄物をバイオ技術により安全に減容するとともに、その過程でメタンガスを回収できる可能性を示しており、優れた成果が挙げられている。今後は、減容率とコストで焼却法と比較するとともに、様々な組成の廃棄物を効率よく湿式ミリングする方法の開発、微生物・光合成細菌によるCs吸着・取込機構の解明と活用方法の開発を行い、実機に適用するためのモックアップ試験等による技術の確認につなげていくことを期待したい。</p> <p>S) 極めて優れた成果が挙げられている A) 優れた成果が挙げられている B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんど挙げられていない</p> |